

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	小規模土地改良整備事業			
予算科目	6 款 1 項 8 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 農業の振興			
所管課情報	担当課:	農林水産課	電話番号(内線):	584
記入者情報	所属長:	亀岡 泰三	担当責任者:	高井 保雅
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	農業者等(受益者)			
根拠法令等				
事業の目的	農業基盤整備を促進し、農業経営の合理化及び生産性向上と地域の環境整備を促進する。			
事業の内容	農村地域の農道・農業用排水施設等の整備を行うための原材料費等の補助金を交付する。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	自主施工が困難な地区については、市単独土地改良事業で施工を行った地区もある。(地元負担 工事費の20%)			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	10,903	9,900	874	7,796
	人件費	2,847	2,783	1,391	2,783
	合計	0	12,683	2,265	10,579
人件費 内訳	人工数	0.35	0.35	0.18	0.35
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	2,847	2,783	1,391	2,783
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	13,750	12,683	2,265	10,579

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
小規模土地改良整備	%	95.6	100	9	78.7

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	6,000	7,000	7,000	7,000	7,000	34,000

成果指標				
成果指標	決算額÷予算額			
指標設定の考え方	要望事業量に対する実施事業量の割合を上げることが、生産性向上及び環境整備を図れることになる。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	100	100	0	0
実績	95.6	78.7	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	5	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	この事業は原材料費のみの補助で、コスト縮減になる事業であるが、農業者の高齢化及び減少により、関係者での施工が難しくなっている地区があり、土木業者へ施工を依頼すると地元負担が増えるため、市単独土地改良事業での施工を検討している地区も出てきている。また、今年度の事業費については、当初予定箇所34箇所の補助を行ったが延長減等により78.7%の実績となった。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	当事業は、原材料支給に対してのみの補助であり、施工にあたっては地元関係者で対応することになっているが、関係者の高齢化等により施工が難しくなっている地区もあることから、市単独土地改良事業、多面的機能支払事業等の他事業での取組みの検討・調整を図る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	